

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 (証券コード7508)

(ご注意)

- (1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座 口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する
株式会社 G-7 ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

UD
FONT



株主通信

第38期 中間報告書
平成24年4月1日～平成24年9月30日



オートバックス・業務スーパーで躍進する
株式会社 G-7 ホールディングス

G-7 Group

さらなる成長戦略の実行により、 高収益性の確保と 企業価値拡大に向かって 前進し続けます。

G-7グループは当期を「成長戦略元年」と位置づけ、創業40周年にあたる平成28年3月期の売上高1,000億円、営業利益40億円達成を目標に「経費削減、1人当たり生産性向上、適正在庫」のグループ方針を徹底させ、新規出店やM&A、東南アジア進出、業務提携などの成長戦略に取り組んでいます。



代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

Q 当中間期の業績とその要因についてご説明ください。

A 第38期中間期（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の業績は、売上高が40,235百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益が1,067百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益が1,206百万円（前年同期比15.1%増）、中間純利益が666百万円（前年同期比18.2%増）で、増収増益となりました。その要因として、オートバックス・車関連事業における店舗拡大や業務スーパーの売上伸長のほか、収益力の劣る店舗の閉店による営業損失の圧縮などが挙げられます。

事業別で見ると、オートバックス・車関連事業では、当期より一気に出店攻勢を強めていく方針で、中期経営計画の最終年度となる平成28年3月期には約2倍増となる100店舗を目標として掲げています。

業務スーパー・こだわり食品事業では、業務スーパーが当期も首都圏、中部地方を中心に積極的な出店を継続していく方針で、当期下期で6店舗程度の新規出店を計画しています。農産物直売所「めぐみの郷」は、当期は事業戦略の見直しにより、売上高が不振だった8店舗を閉鎖しました。現在は関西エリアを中心に16店舗で運営しており、営業損失は大幅に減少

しました。今年10月以降、出店に適した物件がみつければ4店舗程度を新規出店する予定です。

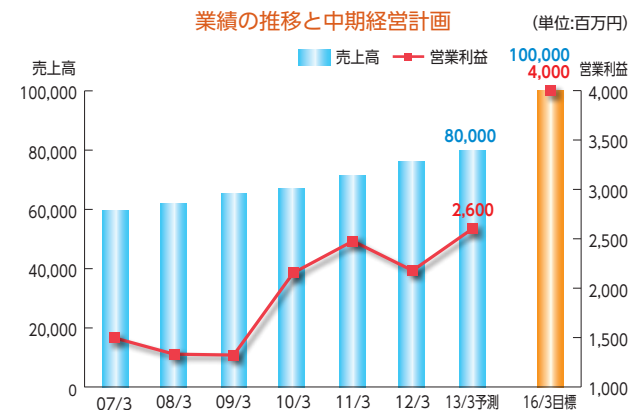
Q 海外展開についてご紹介ください。

A G-7ホールディングスの100%子会社「めぐみのさと」と、ミャンマーの流通大手シティーマートホールディングスとの間で、農産物の生産及び販売事業に関する業務提携を行うことについて、本年5月14日に基本合意に達しました。具体的な提携内容は、新たに設立する合弁会社で日本の農産物をミャンマーで生産し、シティーマートホールディングスの店舗で販売するほか、グループの卸売会社を通じてミャンマーのホテルやレストランへ卸販売を行うものです。「めぐみのさと」からは、日本の農産物を生産する人材やノウハウを提供します。業務提携を行った理由は、ミャンマーでは日本のような高品質で美味しい野菜を供給する体制がまだ十分とは言えず、現地で栽培することで、需要を掘掘できると判断したからです。



ミャンマーの流通大手企業と業務提携
シティーマートホールディングス取締役 ソー・モー・トゥー氏(左)と
当社グループ会長 木下 守(右)

また、マレーシアにオープンしたオートバックスランセンソナル店は、現在来店客数が1日50～100人程度で、日本人が多くを占めています。現地では、車検制度が無いため、自動車が故障してから店に持ち込まれることも多く、修理サービスの需要が日本と比べ大きく、車検サービスを独自ではじめました。今後の課題は、知名度アップによるいっそうの集客力向上と人材教育。付加価値の高いカー用品、充実したピット作業、そして日本国内と同様の接客サービスを行い、地域に密着した店舗作りを行ってまいりたいと考えています。



Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A G-7グループは、積極的な事業展開でさらなる売上の伸長をめざすとともに、グローバルな領域での事業推進にも注力してまいります。株主の皆様のご期待に沿えるよう、企業価値の最大化に向けて努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お客様満足を原点に、楽しい暮らしを応援する 幅広い事業に取り組んでいます。

オートバックス

広島、兵庫県下でネットワーク拡大

車関連事業における広島県内の競争力を強化させるため、平成24年4月に福山市内において「オートバックス」など合計3店舗をオートバックスセブン並びにオートバックス・スリーアロー社より譲り受け、当社グループ店舗としました。また、兵庫県では、ガンソリスタンド併設の「オートバックスエクスプレス塩屋北店」を4月に、メンテナンスに注力した小型店「オートバックス篠山店」を7月に開店しました。



オートバックス・福山中央店
広島県福山市 [平成24年4月1日譲受]



オートバックス・蔵王店
広島県福山市 [平成24年4月1日譲受]



オートバックス走り天国セコハン市場福山店
広島県福山市 [平成24年4月1日譲受]



オートバックスエクスプレス塩屋北店
兵庫県神戸市 [平成24年4月29日開店]

業務スーパー

神奈川、愛知県でドミナント戦略を推進

地域密着の顧客サービスをめざす業務スーパーは、神奈川県への出店を強化。県内で11店舗目となる「業務スーパー潮田店」を平成24年4月に開店し、ドミナント戦略によるブランド浸透を進めています。また、愛知県で20店舗目、豊橋市では2店舗目の「業務スーパー二川店」を5月に開店。愛知県でもドミナント戦略を進めてまいります。



業務スーパー潮田店
神奈川県横浜市
[平成24年4月19日開店]



業務スーパー二川店
愛知県豊橋市
[平成24年5月31日開店]

農産物直売所 めぐみの郷

PBブランドによる競合との差別化を推進

高品質で値頃感のある商品を提供し、固定客獲得を図るため、PBブランドの強化を図っています。平成24年6月よりブランド鶏で有名な長野県・小松種鶏場と提携を結び、卵を発売。また同月、長野県安曇市の米生産者と提携し、減農薬、減化学肥料栽培の特別栽培米のコシヒカリをPBの品揃えに加えました。



PB商品 めぐみのたまご

PB商品
安曇野アルプスのめぐみ(米)

良品買館

節約志向を追い風に岡山県で2店舗目出店

平成24年7月、「良品買館 倉敷玉島店」を開店。「メガリサイクル王国」岡山久米店に続き、同県でリユース関連事業として2店舗目の出店となりました。

良品買館 倉敷玉島店
岡山県倉敷市 [平成24年7月26日開店]



Green'sK 鉄板ビュッフェ

低価格と豊富な具材が特色の鉄板焼レストラン

Green'sK 鉄板ビュッフェは新しいスタイルのビュッフェレストラン。ご自分の席で鉄板料理を作って楽しんでいただくスタイルです。お好きなメニューが食べ放題のランチやディナーをご用意。平成24年6月に当社グループで8店舗目、千葉県で2店舗目となる千葉ニュータウン店をオープンしました。



Green'sK 鉄板ビュッフェ
千葉ニュータウン店
千葉県印西市
[平成24年6月6日開店]

G-7モール木更津

グループ店舗集積の複合施設

千葉県木更津市「かずさアクアシティ」に、「オートバックス」などグループ店舗複合施設「G-7モール木更津」の建設を決定。着工は平成25年4月を予定しています。

かずさアクアシティは、東京湾アクアラインの千葉県側着岸地で、東京や神奈川エリアを含めた広域からのアクセスに優れた立地。アウトレットモールのオープンなどでも話題となっています。すでに開設している「G-7モール千葉ニュータウン」との相乗効果を期待しています。

計画概要

●所在地/千葉県木更津市 ●敷地面積/20,389.38㎡ ●店舗/オートバックス、バイクセブン、めぐみの郷、良品買館など出店予定 ●着工予定/平成25年4月

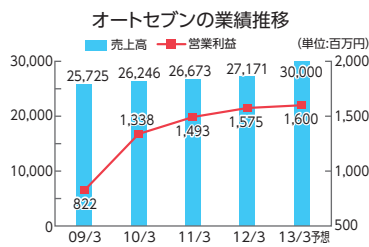
オートセブン | サンセブン | セブンプランニング | G-7モータース | シーアンドシー | めぐみのさと | 上野食品

お客様のより豊かなトータルカーライフをめざして。



オートセブンは、カー用品の全国ブランド「オートボックス」最大の加盟店。平成24年9月現在、兵庫県を中心に千葉県、茨城県、福井県、京都府、岡山県、広島県の7府県でオートボックス関連店舗56店舗を経営するなど、車関連事業で計71の店舗を展開しています。

オートセブンは、平成24年3月期の売上高は約272億円、営業利益は15億7千万円で、グループ会社の中でサンセブンと共にG-7グループの2本柱のひとつとして、グループを支えています。



■ 店舗名称と各店舗数 (平成24年9月30日現在)

全店舗数71

店舗名	事業内容	店舗数
オートボックス	「カー用品のワンストップショッピング」を実現したカーライフストア	51
スーパーオートボックス	カーライフの全てをサポートするカーライフメガストア	2
オートボックスセコハン市場	中古カー用品の買取・販売を通じて、カー用品のリサイクルを推進	2
オートボックスエクスプレス	ガンリンスタンドにピットを併設、車のメンテナンスを中心にカー用品の販売も行う	1
オートボックスカーズブース	中古車の買取・販売場として、手続から購入後のメンテナンスまで幅広くサポート	2
テクノキューブ	カーメンテナンスの専門家が車検、板金・塗装、保険、一般整備などを行う店舗	6
BPセンター(板金集中センター)	板金・塗装に関する高度な技術で多様なニーズに応える、板金・塗装専門の集中工場	3
クリスタルセブン	洗車とコーティングの専門店として、信頼できるプロが多彩な提案	2
タイヤ専門館	世界各国の主要タイヤを取り扱い、販売、取り付け、メンテナンスまでを行う専門店	1
モータウン土山サーキット	元F1ドライバー・鈴木亜久里氏がプロデュース、レンタルカート専用のサーキット場	1

会社概要

株式会社オートセブン
 設立 2006年(平成18年)1月11日
 資本金 3億8,000万円
 代表者 代表取締役社長 金田 達三
 本社 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
 TEL:078-797-7701(代)
 ホームページ
<http://www.autoseven.co.jp/>



代表取締役社長 金田 達三



オートボックスNew土山店



クリスタルセブン塩屋北店



モータウン土山サーキット

ストアネットワーク

それぞれの地域で、愛される店舗を展開中。

グループネットワークを通じ、幅広い事業分野でお客様の快適な生活をサポートしています。

G-7グループは「オートボックス」「業務スーパー」を中心に、リサイクル事業、介護事業、アグリ事業、レストラン事業など暮らしに密着したさまざまな事業分野で、全国に、また海外に店舗数を伸ばし、着実な前進を続けています。

近畿地方

「オートボックス」	33店舗	「TSUTAYA」	2店舗
「業務スーパー」	29店舗	「Green'sK」	2店舗
「スーパーオートボックス」	2店舗	「良品買館」	2店舗
「タイヤ専門館」	1店舗	「バイクセブン」	2店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗	「nagomi」	4店舗
「オートボックスエクスプレス」	1店舗	「めぐみの郷」	15店舗
「オートボックスカーズブース」	2店舗	「Green'sK 鉄板ビュッフェ」	5店舗
「BPセンター」	3店舗	「神戸粉もん七つの壺」	2店舗
「テクノキューブ」	4店舗	「旬菜ビュッフェめぐみ」	1店舗
「クリスタルセブン」	2店舗		
「モータウン土山サーキット」	1店舗		

中国地方

「オートボックス」	5店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗
「テクノキューブ」	1店舗
「メガリサイクル王国」	1店舗
「良品買館」	1店舗
「バイクセブン」	1店舗

九州地方

「業務スーパー」	5店舗
「バイクセブン」	1店舗

マレーシア

「オートボックス」	1店舗
-----------	-----



関東地方

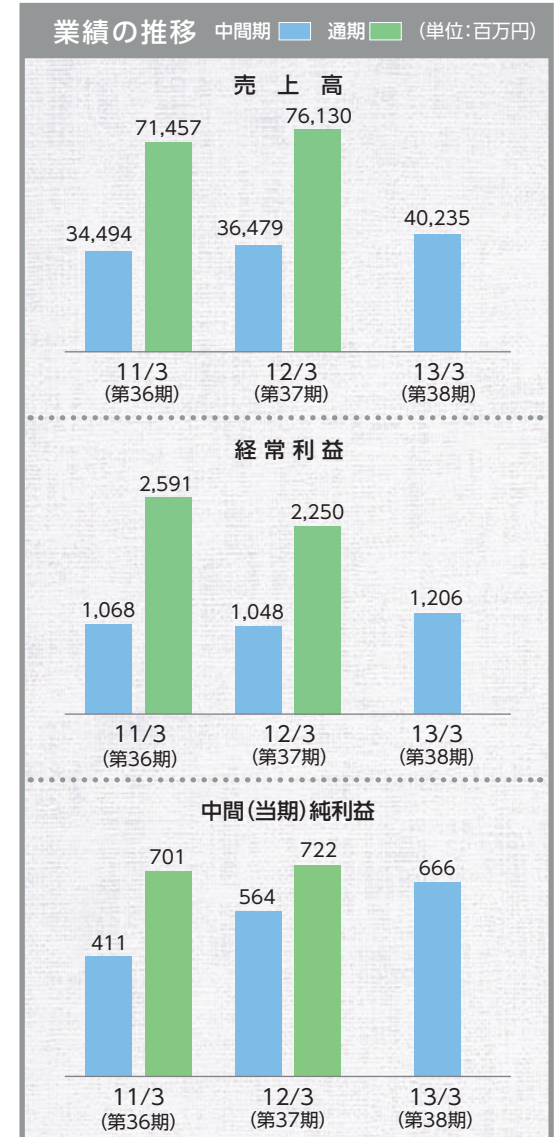
「オートボックス」	7店舗
「テクノキューブ」	1店舗
「業務スーパー」	36店舗
「バイクセブン」	2店舗
「良品買館」	1店舗
「めぐみの郷」	1店舗
「Green'sK」	1店舗
「Green'sK 鉄板ビュッフェ」	2店舗
「めぐみベーカリー」	1店舗

中部地方

「オートボックス」	6店舗
「業務スーパー」	31店舗
「Green'sK」	1店舗
「バイクセブン」	1店舗
「Green'sK 鉄板ビュッフェ」	1店舗

(平成24年9月30日現在)

事業区分	売上高構成比	事業内容	当中間期の概況
<p>オートボックス 車関連事業</p>	<p>38%</p>	<p>主要品目:車(四輪・二輪)関連用品、部品、車両販売 運営子会社:オートセブン、G-7モータース、他</p> <p>オートボックス篠山店</p> <p>オートボックス蔵王店</p>	<p>オートボックス・車関連事業につきましては、エコカー補助金・減税の施策により車販売の売上が前年同期に比べ増加し、これに伴いタイヤ、ホイール、カーアクセサリー等が好調に推移しました。しかしながら、昨年度の地デジチューナー施策の反動により、カーナビゲーション等の売上が大きく減少いたしました。出店につきましては、広島県の「オートボックス」3店舗(福山中央店、蔵王店、セコハン市場福山店)を譲受、新たに兵庫県に2店舗(オートボックスエクスプレス塩屋北店、篠山店)をオープンしました。これにより売上高は15,383百万円(前年同期比7.7%増)となりましたが、利益面におきましては、新規出店したことによる初期費用の増加、カーナビゲーション等の販売価格の低下に伴う粗利率が低下したこと等により、営業利益は559百万円(前年同期比10.4%減)となりました。</p>
<p>業務スーパー こだわり食品事業</p>	<p>58%</p>	<p>主要品目:冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売 運営子会社:サンセブン、シーアンドシー、上野食品</p> <p>業務スーパー二川店</p> <p>業務スーパー潮田店</p>	<p>業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、消費者の根強い節約志向を背景に、集客力を上げるため値下げ戦略を実施する食品スーパーが増加するなか「業務スーパー」は、関東・中部地区でのドミナント戦略を進め、神奈川県に1店舗(潮田店)、愛知県に1店舗(二川店)をオープンし、知名度向上、集客及び固定客作りに努めました。これにより売上高は23,317百万円(前年同期比10.7%増)となりましたが、利益面におきましては原価率の上昇等の影響により、営業利益は634百万円(前年同期比7.5%減)となりました。</p>
<p>その他事業</p>	<p>4%</p>	<p>主要品目:農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等 運営子会社:めぐみのさと、セブンプランニング、他</p> <p>良品買館 倉敷玉島店</p> <p>Green's K鉄板ビュッフェ千葉ニュータウン店</p>	<p>その他事業につきましては、低価格で食べ放題の「Green'sK 鉄板ビュッフェ」を千葉県に1店舗(千葉ニュータウン店)オープンしました。また、農産物直売所「めぐみの郷」は、プライベートブランドの加工食品の販売強化を図り、売上及び利益の向上に努めました。さらに、前期において収益力の劣る8店舗を閉店したこと等により、営業損失が大幅に減少しました。これにより、売上高は1,534百万円(前年同期比35.5%増)、営業損失は86百万円(前年同期は営業損失200百万円)となりました。</p>



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成24年3月31日現在)
流動資産	13,350	11,939
固定資産	16,571	16,515
有形固定資産	11,743	11,694
無形固定資産	589	667
投資その他の資産	4,238	4,153
流動負債	13,327	12,873
固定負債	6,604	6,079
純資産合計	9,990	9,502
負債及び純資産合計	29,922	28,455

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	40,235	36,479
売上原価	29,649	26,738
売上総利益	10,586	9,740
販売費及び一般管理費	9,518	8,703
営業利益	1,067	1,037
経常利益	1,206	1,048
中間純利益	666	564

POINT 1 貸借対照表

■ 資産

当連結中間期末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,466百万円増加し29,922百万円となりました。

■ 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ978百万円増加し19,931百万円となりました。

■ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ488百万円増加し9,990百万円となり自己資本比率は33.4%となりました。

POINT 2 損益計算書

■ 売上高

売上高は、前年同期比3,756百万円増、10.3%増の40,235百万円となりました。

■ 営業利益・経常利益

営業利益は、前年同期比30百万円増、2.9%増の1,067百万円、経常利益は前年同期比158百万円増、15.1%増の1,206百万円となりました。

■ 中間純利益

中間純利益は、前年同期比102百万円増、18.2%増の666百万円となりました。

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式の総数	13,336,400株
株主数	7,849名

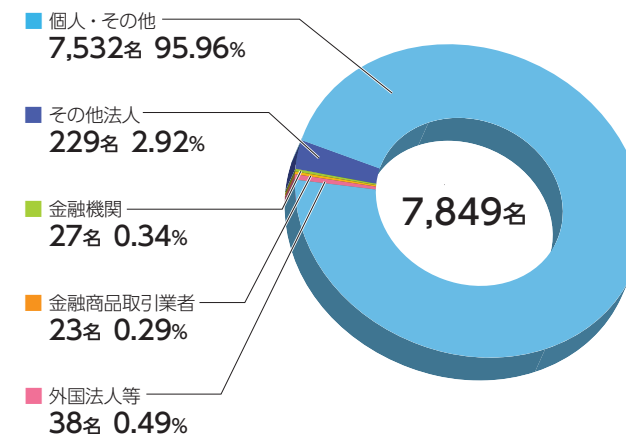
大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
木下 守	1,830 千株	15.04%
木下 智雄	1,829	15.03
有限会社キノシタファミリーサービス	1,154	9.48
関 稚奈巳	1,129	9.27
木下 陽子	826	6.78
株式会社オートボックスセブン	337	2.77
茂 理佳 弘	176	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	150	1.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	140	1.15
野村證券株式会社	130	1.06

(注) 1. 当社は自己株式1,165,437株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株主分布

(平成24年9月30日現在)



会社の概況

(平成24年9月30日現在)

商号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設立	昭和51(1976)年6月18日
資本金	17億8,570万円
代表者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事業内容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従業員数	1,362名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

グループ企業

(平成24年9月30日現在)

株式会社オートセブン	株式会社サンセブン
株式会社セブンプランニング	株式会社G-7モータース
株式会社シーアンドシー	株式会社めぐみのさと
上野食品株式会社	
G7INTERNATIONAL PTE.LTD.	
SEVEN FORTUNE MALAYSIA SDN.BHD.	
SEVEN FORTUNE GROUP LTD.	
SEVEN FORTUNE (SHANGHAI) SUPERMARKET CO.,LTD.	

役員状況

(平成24年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役 奥本 恵一
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役 小林 宏至
取締役副社長	木下 智雄	監査役(常勤) 福田 弘
取締役 岸本 安正		監査役 上甲 悌二
取締役 松田 幸俊		監査役 西井 博生

(注) 1. 小林宏至氏は、社外取締役であります。
2. 上甲悌二氏および西井博生氏は社外監査役であります。
3. 当社は、小林宏至氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。